

2000億円の下関・北九州道路より 市民のくらし・防災へ!

現市長では…

ここがダメ1

公約やぶり

現市長は1期目の選挙で「採算のとれない大型ハコモノに税金投入はやめる」「市長退職金を廃止する」「市長任期は3期まで」と公約しましたがすべてやぶりました。

ここがダメ2

市民の声を聞かない

文化遺産として価値の高い八幡市民会館の存続や、世紀の発掘となった城野遺跡の保存活用などを求める多くの市民の声にまったく聞く耳をかしません。

ここがダメ3

市民に冷たい

現市長の3期12年間で人口、雇用数、工業出荷額、小売販売額、市民所得など、市勢を示す指標はいずれも減少。全国86%の市町が実施する中卒までの医療費無料も手つかず、高齢者の施設利用料の値上げなど、市民に冷たい市政です。

新人市長候補でチエーンジ!

無所属
日本共産党すいせん

新人市長候補は…

実現します1

HONESTY

正直・誠実な市政を

今、政治に一番求められていることは、正直・誠実であることです。公約は1票を託す市民との約束です。市政を見直すことで財源を確保し、公約を必ず実現します。



実現します2

一人ひとりの声を大切に市政へ

市政の基本は住民自治による街づくりです。若者や女性、高齢者など多様な住民の要求や気づきを聞き取り、市と住民が協力・共同した街づくりで、持続的発展が可能な市政を実現します。



実現します3

福祉・教育を優先 地域循環型経済へ

大型ハコモノへの税金投入を見直し、市民の元気の源となる福祉・教育を優先した市政をめざします。また、大企業本位ではなく、がんばる中小業者を支援・育成する地域循環型経済政策に転換します。



新人市長候補公約実現の経費と財源確保

(単位:億円)		(単位:億円)	
● 子ども医療費を中学校卒業まで完全無料に	10.5	● 公契約条例の制定で適正な賃金の保障	20.0
● 商店リニューアル制度の創設	3.6	● 全公立小中学校で35人以下学級の実施	30.0
● 国保料・介護保険料の引き下げ	12.0	● 学校給食を自校直営方式に戻す	16.0
● 高齢者・障がい者の福祉乗車券制度	18.3	● 住宅リフォーム制度を復活・改善する	2.0
● 市独自のがけ崩れ対策事業の創設	3.2		
● 給付型奨学金の創設	2.5		
		合計	118億円

118億円は、一般会計約5,600億円の2.1%です。予算の組み換えで十分に対応できる規模です。(財源の裏付けはあります)



1.27 市長選

市政を **チェンジ!!**

アベ政治にモノ言う市長を!

北九州市民の生活に大きな影響を与える国政の横暴に
言いなりでは、市民のくらしは守れません。
沖縄県知事選挙につづき市政を変えるチャンスです。

消費税10%増税に NO!と言える市長を

安倍政権は2019年10月に消費税10%増税を実施すると発表しました。消費税は、所得の低い人ほど負担の大きい不公平税制であり、8%増税で悪化した市民のくらしや中小業者の仕事にさらに追い打ちをかけることは明白です。

また、社会保障のためと言いながら、大企業の法人税減税の穴埋めに使われ、医療や福祉は悪くなるばかりです。

アベ政治にモノ言う市長の誕生で、北九州から10%増税NO!の声を示します。

憲法9条破壊 築城基地の米軍基地化に NO!と言える市長を

安倍政権は2020年までの憲法改正に執念を燃やしています。その狙いは9条の破壊と戦争する国づくりです。

お隣の築城基地では、弾薬庫の設置、戦闘機用の滑走路延長計画が日米政府によって合意されました。

アベ政治にモノ言う市長の誕生で、9条破壊、築城基地強化に反対し、市民の命と安全を守ります。

原発再稼働に NO!と言える市長を

安倍政権と電力会社が躍起となってすすめる原発再稼働。

玄海原発でひとたび事故が起これば、北九州市民にも重大な健康被害をもたらします。

アベ政治にモノ言う市長の誕生で、原発ゼロの意志を示し、安全で環境にやさしい再生可能エネルギー政策をすすめます。

変えましょーっ!
一緒に。



新人市長候補

社会保障の財源に
消費税増税は必要

(2018年12月議会答弁)

現市長

アベ政治容認の現市長

憲法9条改憲の必要性、
国民生活への影響など、
理解が得られるよう
取り組みをすすめて
いただきたい。

(2018年12月議会答弁)

現市長

再生可能エネルギー政策に
本気で取り組むなら、
原発ゼロで!

原発再稼働を推進したい電力会社は、太陽光発電の出力制限をおこなっています。原発がなくても電力はじゅうぶん足りています。

あなたの1票を 日本共産党のすいせんする候補者へ